

平成29年度事業報告

平成29年滋賀県の観光入込客数(平成29年滋賀県観光入込客統計速報値)は、延べ約5,226万人(前年比2.9%増)と過去最高となった。

一方、観光庁宿泊旅行統計調査(速報値)による平成29年の本県の宿泊者数は、約438万人で前年比90.7%と減少し、平成26年、27年と急増してきた外国人宿泊者数も平成28年より横ばいとなり、平成29年は約38万人と前年比78.3%と減少に転じている。

また、滋賀県のブランド力(地域ブランド調査2017)は、前年の33位から28位と着実に上昇している。

滋賀県では、「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」(平成27年10月)が策定され、観光宿泊者の増加と観光消費額の拡大をめざし、「滋賀の素材・魅力磨き上げプロジェクト」を掲げ施策が展開されているが、これらを踏まえ、当ビューローは、滋賀県「観光交流」振興指針に位置づけられた「観光交流」の振興を担う中核的組織として、会員である県や市町、観光関係団体・事業者をはじめさまざまな主体と連携しつつ、中期計画(目標年度:平成30年度)に掲げる3つの目標の達成を目指し、事業を展開した。

なお、平成30年3月に県域全体を対象とする日本版DMOとして観光庁の登録を受けた。

また、新たな中期計画の策定に向けて、会員向けアンケートを実施し、ワーキンググループによる検討を行った。

中期計画目標1「観光地「滋賀・びわ湖(BIWAKO)」の認知度向上」については、「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」をキーワードとして、市町・観光協会等と連携した、びわこキャンペーンのほか、「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の遺産ぐるっと博」をテーマとしたプレスツアールの実施、パブリシティの専門会社と連携し、定期的に「滋賀・びわ湖」の観光情報を発信した。また、大型観光キャンペーンに向けて、旅行会社に対し、商品化提案のための商談会や現地研修会を実施した。

物産振興事業では、高島屋日本橋店での「大近江展」に加えて、2回目となる「スーパーマーケットトレードショー」への出展、部会員とのコラボによるオリジナル商品の開発、WEBコンテンツの見直しを行った。

また、平成29年10月末をもって閉所した東京観光物産センター「ゆめぷらざ滋賀」の事業を引き継ぎ、首都圏への観光物産情報の発信に努めたほか、首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」との連携を図った。

中期計画目標2「滋賀ならではの素材や強みを生かした特色あるツーリズムの展開」について、国内旅行誘致事業では、平成30年7月15日から12月24日にかけて開催する大型観光キャンペーンに向けて地域観光プログラムの開発を促進するとともに、プレキャンペーンとしての「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の遺産ぐるっと博」を中心に広報・プロモーション

活動を行った。

国際観光事業では、新規事業として本県の特色ある自然、歴史、文化といった観光資源への関心が高いと期待される欧州地域への旅行博出展やセールスコールの実施、成長市場として期待される東南アジア地域で開催される旅行博へ出展し誘客強化を図った。

教育旅行誘致事業では、大手旅行エージェントの教育旅行担当者現地研修会の拡充を図るとともに、誘致キャラバンを首都圏、北陸地方、東海地区、中四国地方、九州各県に向けて実施した。また、首都圏の学校長等が出席する研究協議会において誘致PRを実施した。

コンベンションなどのMICEの誘致では、大手旅行会社より担当者を講師として招き、MICE研修会を実施した。また、地方都市コンベンション関連団体に参画し、学会事務局や旅行エージェントなどを対象とした合同セミナー・合同セールスを実施した。

中期計画目標3「来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくり」では、県域全体を対象とする地域連携DMOの認定を受けるとともに、各種観光データ等の継続的な収集・分析を行い、市町、観光関連団体、観光事業者、ボランティア、住民などの多様な関係者が推進する観光まちづくりを支援した。

法人の体制整備については、組織の中核となるべきプロパー職員1名を新規に採用した。

また、事務局と会員、さらに会員相互のコミュニケーションの充実を図るため、県内4地域において地域懇談会を開催したほか、会員あての情報提供メールである会員通信についても引き続き発行した。さらに、市町・観光協会等など、観光素材の開発や観光まちづくりに関わる各種団体等との連携を強化した。

○諸会議の開催

1 定時総会

日 時	平成 29 年 6 月 9 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分
場 所	琵琶湖ホテル 「瑠璃の間」
表 彰	平成 29 年度 観光物産振興功労者の知事表彰 平成 29 年度 観光物産事業功労者等の会長表彰
議 事	第 1 号議案 平成 28 年度計算書類承認について 第 2 号議案 理事の選任について 第 3 号議案 監事の選任について
報 告	・平成 28 年度事業報告について ・平成 29 年度事業計画、収支予算ならびに資金調達および設備投資の見込みについて

2 理事会

(1) 第1回理事会

- 日 時 平成29年5月19日(金) 14時00分～15時50分
- 場 所 コラボしが21 6階「労働福祉セミナー室」
- 議 事 第1号議案 会員の入会承認について
第2号議案 平成28年度事業報告および計算書類の承認について
第3号議案 平成29年度観光物産事業功労者等の選考について
第4号議案 平成29年度定時総会について
- 報 告 ・平成28年度執行状況報告について
・首都圏情報発信事業「ここ滋賀」について

(2) 第2回理事会

- 日 時 平成29年6月9日(金) 15時30分～15時50分
- 場 所 琵琶湖ホテル3階「オレンジ・ブラウン」
- 議 事 第1号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー役員の選定について
第2号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー 会長の職務代行順序の指名について
第3号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー企画委員会委員および広報情報委員会委員の選任について
第4号議案 会員の入会承認について

(3) 第3回理事会

- 日 時 平成29年7月26日(水) 9時00分～10時30分
- 場 所 コラボしが21 6階「労働福祉セミナー室」
- 議 事 第1号議案 滋賀県東京観光物産情報センターにおける(公益社団法人)びわこビジターズビューロー職員による不正支出等の事案について
第2号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー事務処理規程の改正(案)について
第3号議案 会員の入会承認について

(4) 第4回理事会

- 日 時 平成29年10月31日(火) 15時00分～17時20分
- 場 所 コラボしが21 3階「中会議室2」
- 議 事 第1号議案 会員の入会承認について
第2号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー組織規程の一部をする規程(案)について
第3号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー事務処理規程の

一部を改正する規程（案）について

- 第4号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー会長が指定する職員の給与に関する規程の一部を改正する規程（案）について
- 第5号議案 東京観光物産情報センターにおける前所長の不正支出事案に係る関係者の責任ならびに不祥事案再発防止および信頼回復に向けた取組について

報 告

て

- ・平成29年度執行状況報告について
- ・東京観光物産情報センターにおける前所長の不正支出事案の対応状況について
- ・東京観光物産情報センターの廃止および「ここ滋賀」オープンにともなう対応について
- ・日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博および大型観光キャンペーンについて
- ・平成30年度予算編成について
- ・会員の退会について
- ・会員資格の喪失について
- ・公明党滋賀県本部に対する団体要望について

(5) 第5回理事会

日 時 平成30年3月15日（木）10時00分～12時00分

場 所 コラボしが21 6階 「労働福祉セミナー室」

議 事 第1号議案 会員の入会承認について

第2号議案 平成30年度事業計画(案)、収支予算(案)ならびに資金調達および設備投資の見込みについて

第3号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー事務処理規定を改正する規程（案）について

報 告

- ・平成29年度各部会等の事業進捗状況について
- ・ビューロー会員アンケートの実施結果および新しい中期計画の策定に向けた論点について
- ・「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」および滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」について
- ・ビューローにおける民泊法への対応について
- ・会員の退会について

3 委員会

(1) 企画委員会

① 第1回

日 時 平成29年9月6日（水） 15時00分～16時30分

場 所 コラボしが 21 6 階「労働福祉セミナー室」
議 事 ・委員長、副委員長の選出について
・平成 30 年度予算編成について
・平成 30 年度大型観光キャンペーンについて
・首都圏新拠点「ここ滋賀」と「ゆめぷらざ滋賀」について

② 第 2 回

日 時 平成 30 年 1 月 17 日（水） 13 時 30 分～15 時 30 分
場 所 コラボしが 21 6 階「労働福祉セミナー室」
議 事 ・びわこビジターズビューロー中期計画の改定について
・会員アンケートの実施について

③ 第 3 回

日 時 平成 30 年 3 月 5 日（月） 13 時 30 分～15 時 30 分
場 所 大津市勤労福祉センター 4 階「会議室 2」
議 事 ・平成 30 年度事業計画（案）および収支予算（案）について
・中期計画の見直しについて

(2) 広報情報委員会

① 第 1 回

日 時 平成 29 年 6 月 27 日（火） 9 時 30 分～11 時 30 分
場 所 コラボしが 21 6 階「労働福祉セミナー室」
議 事 ・委員長・副委員長の選任について
・首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」について
・日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博について
・大型観光キャンペーンについて

② 第 2 回

日 時 平成 30 年 1 月 15 日（月） 13 時 00 分～15 時 00 分
場 所 コラボしが 21 3 階「ミーティングルーム 2」
議 事 ・日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博について
・滋賀県観光キャンペーンについて
・中期計画改定（スケジュール、統計情報等）について
・DMO 候補法人について
報 告 ・ここ滋賀について

③ 第 3 回

日 時 平成 30 年 2 月 27 日（火） 13 時 00 分～15 時 00 分
場 所 コラボしが 21 3 階「ミーティングルーム 2」

- | | |
|-----|--|
| 議 事 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業計画（案）および収支予算（案）について ・中期計画の見直しについて |
| 報 告 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度事業進捗状況について ・水の文化ぐるっと博 クロージングイベントについて |

○事業執行状況

I 「観光地「滋賀・びわ湖（BIWAKO）」の認知度向上」

1. 観光物産情報の発信

(1) 観光物産情報ウェブサイトの管理運営

観光情報を効率的、効果的に発信するため、県内観光物産関連情報を集約して情報の一元化を行うとともに、滋賀県を目的とした観光需要を喚起するために、フェイスブックなどの SNS を活用した観光物産情報の発信に努めた。

- | | | |
|---|-----------------------------|----------------------|
| ① | 観光物産情報データベースの運営 | |
| ② | 各種データベースの更新 | |
| ③ | メールマガジン発行（滋賀・びわ湖 とれっトレニュース） | 毎月 1 回 |
| ④ | ウェブサイトの閲覧状況：セッション数 | 4,291,755 件（3 月末現在） |
| | ユーザ数 | 3,139,770 件（3 月末現在） |
| | ページビュー数 | 11,105,086 件（3 月末現在） |
| | FB いいね数 | 4,129 件（3 月末現在） |

(2) 観光案内・観光相談業務

観光・物産の問い合わせ等に対応するため、電話およびメールによる観光案内・観光相談業務を実施した。

- | | | |
|---|-----------------|-----------------|
| ① | 電話による問い合わせ | 2,141 件（3 月末現在） |
| ② | メールによる問い合わせ | 326 件（3 月末現在） |
| ③ | ビューロー事務所への来訪 | 36 件（3 月末現在） |
| ④ | 観光パンフレット等送付依頼件数 | 540 件（3 月末現在） |

(3) ビワイチ観光ウォーキング認定事業

琵琶湖を歩いて一周した人を「ビワイチ観光ウォーカー」として認定した。

（認定件数： 122 名（3 月末現在））

- | | |
|---|---------------------|
| ① | コース上のスタンプポイントの現地確認 |
| ② | 各箇所のスタンプメンテナンスを随時実施 |

2. 広報・プロモーションの実施

(1) びわこキャンペーン事業

① 観光情報誌「滋賀たび」の発行

年4回発刊し、JR西日本の各駅置き9万部、県内3万部、他3万部の発行配信。
県内の各市町と連携し観光情報を集約、総合パンフレットとしてJR西日本エリア
を中心に情報発信を行った。

ア 夏号 歴史ロマンときらめく湖西を体感、水の文化ぐるっと博 など

イ 秋号 花とフルーツ、紅葉まで。秋の恵みを満喫！、イベント続々！ぐるっと博
これだけは見逃せない特集 など

ウ 冬号 酒蔵探訪「女子旅」、びわ湖灯り絵巻 など

エ 春号 花見から湖上のスポーツまでアクティブに、ぐるっと春を満喫 など



② 観光情報の発信

JR西日本との連携による「びわこキャンペーン推進協議会」により、特に「日本
遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」を中心に、観光情報の発信を行った。

ア 市町・観光協会の協力による広報キャンペーン

(ア) 旅ミルン岡山

日時：平成29年7月1日（土）～2日（日）

場所：イオンモール岡山

主催：西日本旅客鉄道株式会社岡山支社

参加市町：大津市、草津市、守山市、野洲市、栗東市、

近江八幡市、東近江市、日野町、長浜市、米原市

内容：ステージPR、パンフレット配布



(イ) 大阪駅パンフレット配布

日時：平成29年9月27日（水）

場所：JR大阪駅 アトリウム広場

参加市町：大津市、草津市、守山市、野洲市、栗東市、

甲賀市、近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町、高島市



(ウ) フラワーアートミュージアム

日時：平成29年10月8日（日）

場所：JR大阪駅 アトリウム広場

内容：ステージPR、パンフレット配布

(エ) 大阪駅パンフレット配布

日時：平成29年11月16日（木）

場所：JR大阪駅 アトリウム広場

参加市町：大津市、湖南市、東近江市、日野町、彦根市、長浜市、高島市

内容：パンフレット配布

(オ) 関西へ行こう観光展

日時：平成30年1月27日（土）～1月28日（日）

場所：福岡天神ソラリアゼファ

参加市町：大津市

内容：ブースPR、ステージPR、パンフレット配布



(カ) 広島観光展

日時：平成30年3月3日（土）～3月4日（日）

場所：イオンモール広島府中

参加市町：大津市、甲賀市、近江八幡市、東近江市、彦根市、豊郷町、甲良町、長浜市、米原市

内容：ブースPR、ステージPR、パンフレット配布

(キ) 福岡観光展

日時：平成30年3月17日（土）～3月18日（日）

場所：福岡天神ソラリアゼファ

参加市町：大津市、日野市、竜王町、彦根市、長浜市、米原市

内容：ブースPR、ステージPR、パンフレット配布

イ 車内吊りポスターの掲出

「びわ湖灯り絵巻～虹色イルミネーション～」

平成30年2月2日（金）～2月8日（木）

「びわ湖ひな人形めぐり」

平成30年2月20日（火）～2月28日（水）



(2) 旅行商品造成に向けた商談会の開催等

大型観光キャンペーンに向けて、部会員や市町・観光協会等と連携し、旅行会社に対し、商品化提案のための商談会や、滋賀での現地研修会を実施した。

① 旅行会社商品企画造成担当者意見交換会および現地研修会

期 日：平成29年9月7日（木）～8日（金）2日間

会 場：ホテルニューオウミ

参加者：商 談 会 旅行会社 45名（37部署）

部会員・市町協会 68名

現地研修会 旅行会社 25名

研 修 先 Aコース 新緑の永源寺&シャワークライミング

B コース ローザンベリーでのBBQ&グランピング見学

C コース 信楽高原鐵道&忍者の里へ

② 中京地区旅行会社商品企画担当者商談会

期 日：平成 30 年 1 月 15 日（月）

会 場：ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

参加者：商談会 旅行会社 12 名（11 部署）

部会員・市町協会 26 名



③ 中国・四国旅行会社商品企画造成担当者商談会

期 日：平成 30 年 3 月 2 日（金）

会 場：ホテルグランヴィア広島

参加者：商談会 旅行会社 8 名（8 部署）

部会員・市町協会 12 名



④ 首都圏旅行会社商品企画造成担当者商談会

期 日：平成 29 年 3 月 7 日（水）

会 場：ロイヤルパークホテル

参加者：商談会 旅行会社 13 名（10 部署）

部会員・市町協会 24 名



(3) 東海地区観光物産情報発信事業

東海地区のマスコミや旅行会社に対して観光情報提供や大型観光キャンペーンのための商品造成に向けた商談会を行う。

① 中京地区旅行会社商品企画担当者商談会（再掲）

期 日：平成 30 年 1 月 15 日（月）

会 場：ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

② 名古屋市内のプレスへの訪問、情報発信

期 日：平成 30 年 1 月 11 日（木）

訪問先：岐阜新聞、岐阜中日新聞、毎日新聞、

中日新聞、中日スポーツ、読売新聞



(4) 日本観光振興協会共同事業

(公社)日本観光振興協会に対して負担金を拠出し、協会が実施する観光情報発信事業等に参画した。

① パンフレット配布

日時：平成 29 年 7 月 27 日（木）

場所：南海なんば駅

内容：パンフレット配布

② 名古屋観光展

日時：平成 29 年 11 月 24 日（金）～11 月 25 日（土）

場所：JR 名古屋駅コンコース

内容：ブース PR、パンフレット配布

③ 横浜観光展

日時：平成 30 年 2 月 2 日（金）～2 月 4 日（日）

場所：JR 横浜駅

参加市町：長浜市

内容：ブース PR、ステージ PR、パンフレット配布



(5) 大型観光キャンペーンに向けたパブリシティの展開

① パブリシティの展開

マスコミ事情に精通したパブリシティ専門会社を一部活用しながら、プレスツアーや個別の取材誘致等により観光情報を効果的に発信した。

ア プレスツアーの実施

・期 日：平成 29 年 7 月 6 日（木）～7 月 7 日（金） 1 泊 2 日

参加者：プレス 5 社 5 名

取材先：長浜市、米原市、彦根市、近江八幡市、東近江市

・期 日：平成 29 年 12 月 6 日（水）～12 月 7 日（木） 1 泊 2 日

参加者：プレス 7 社 7 名

取材先：甲賀市、大津市、高島市

・期 日：平成 30 年 3 月 16 日（金）

参加者：プレス 5 社 5 名

取材先：草津市、野洲市、竜王町、湖南市

イ ニュースリリース

4 月 日本遺産の水辺景観でパワーチャージ

G. W. にオススメの滋賀・びわ湖の旅

6 月 グランピング施設「GLANP ELEMENT」ニューオープン

～ほかにもたくさん！夏に訪れたい滋賀の観光情報～

8 月 滋賀県の紅葉穴場スポット

～ほかにも岳さん！滋賀県 秋のイベント情報～

9 月 「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」開催

～190 を超えるプログラム等で、滋賀の文化を楽しめます～

10 月 「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」

オープニングイベント「祈りと暮らしと水の交響」取材のご案内

- 10月 「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」11、12月の注目プログラム
- 11月 「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」2018年の注目プログラム
- 1月 滋賀県・冬の観光情報4選
- 2月 大近江展
- 3月 滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」

3. 首都圏における情報の発信

(1) ゆめぷらざ滋賀における情報の発信

県から管理運営業務を受託している東京観光物産情報センター（ゆめぷらざ滋賀）において、首都圏における観光・物産振興拠点施設として、積極的かつ効果的な事業展開を図るとともに、同じく県から受託している首都圏発信事業を実施した。

東京観光物産情報センター（ゆめぷらざ滋賀）が10月末をもって閉所したため、11月以降はビューロー本部において首都圏への観光営業等業務を行った。

① 関係機関等との連携により観光・物産情報の収集・提供・発信

- ・滋賀県内各団体の首都圏における活動（マスコミ訪問等）に対する支援
- ・物産展（日本橋高島屋 近江味紀行 年1回開催）の支援、イベントへの出展
- ・センター内常設展（7者参加）および同企画展開催（年間3回）
- ・県内会員（観光・物産）への情報提供、販路拡大支援等

② 旅行会社やマスコミ等への営業活動・情報発信の展開

ア マスコミへの取材協力

- ・テレビ、ラジオ（日本テレビ、テレビ朝日、TBS、テレビ東京 他）
- ・新聞、雑誌等（旅の手帖、旅行読売、男の隠れ家、月刊コロンブス、朝日新聞、読売新聞、東京新聞、産経新聞、サンケイスポーツ、旬刊旅行新聞 他）

イ 旅行エージェントの国内旅行商品化、拡大のためイベント、観光情報の提供

- ・JR 東海ツアーズ、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、朝日旅行、阪急交通社、三越伊勢丹トラベル、東武トップツアーズ等各旅行会社への情報提供
- ・情報提供事業（近畿6府県合同） 年3回
- ・近畿6府県合同エージェント交流会（都道府県会館） 年3回
- ・滋賀県観光推進東京協議会 定例会・キャラバン 各年1回
- ・出版社や報道機関等へのイベント・観光情報・物産情報の提供によるパブリシティーの展開

(2) 首都圏情報発信事業

首都圏における旅行会社等へのプロモーション活動やイベント等を活用した情報

発信を行い、観光振興事業や観光地等の積極的な情報発信・営業活動を行った

- ① 催事・イベント等を活用した情報発信
イベント等の機会を捉えて、県内観光地等の情報発信を行った。
(主な催事・イベント)
 - ・「近畿物産展＋全国名産品セレクション」(5/30～6/5 多摩市新都市センター)
 - ・「有楽町祭」(6/28～7/7 東京交通会館)
 - ・「全国うまいもの交流サロン」(9/1～30 なみへい)
- ② 首都圏における観光PR
本部・会員や県さらに市・町とその観光協会、東京本部と連携し、観光情報やイベント情報等の収集を行い、タイムリーな情報提供に努めた。
 - ・横浜観光展(2/2～4 横浜新都市プラザ)
 - ・「近江ゆかりの会」へブース出展(2/5 品川プリンスホテル)
 - ・ここ滋賀イチオシFood特別版「SHIGA'S BAR in ニホンバシ」(3/21 東京日本橋タワー・屋外イベントスペース)
- ③ 首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」との連携
首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」において、ビューロー主催の企画催事を月1回テーマ毎に行い、観光案内および情報発信に努めた。
 - 第1回「特選近江牛フェア」 11月25日(土)～26日(日)
 - 第2回「近江の伝統 銘菓フェア」1月15日(月)～16日(火)
 - 第3回「琵琶湖めぐみ 水産フェア」1月27日(土)～28日(日)
 - 第4回「近江の銘茶フェア」2月24日(土)～25日(日)
 - 第5回「近江のヘルシー&健康食品フェア」3月24日(土)～25日(日)
- ④ 旅行エージェント等との商談会・意見交換会の実施(再掲)
首都圏の旅行エージェント等を集め、市町・観光協会および県内宿泊施設、観光施設等との商談会・意見交換会を実施した。
 - 首都圏旅行会社商品企画造成・仕入・販売担当者意見交換会
 - 日時：平成30年3月7日(水)
 - 場所：ロイヤルパークホテル(東京日本橋)
 - 参加者：37名(旅行会社13名、部会員24名)商談会 9件
- ⑤ 関係機関との連携による観光・物産情報の収集・提供
 - 「ここ滋賀運営会議」
 - 日時：11月29日(水)、3月2日(金)
 - 場所：インバウンドリーグ新宿
 - 「ここ滋賀連絡会議」
 - 日時：1月25日(木)、2月28日(水)
 - 場所：インバウンドリーグ新宿

4. 物産を通じた情報の発信

(1) 郷土物産展開催事業および物産宣伝紹介事業

滋賀県で生産されている数多くの優れた特産物を紹介し、新たに販路開拓を行うため、滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」や京都伊勢丹での催事など今年新たに12催事を取組み、全体では26催事に参加した。

第30回記念琵琶湖夢街道「大近江展」では、「ここ滋賀」や同時開催の「滋賀県食材レストランフェア」との連携や県内市町の協力を得て、県内観光関連の展示や案内を行いなど、物産と通じた県内観光の魅力発信を強化した。

あわせて県内での物産展においても、観光と連動した取り組みの強化とメディアでの紹介等を強化した。

① 物産展等の開催

名 称	開 催 場 所	開催期間	参加数	販売実績(円)
近江うまいもんええもん市	平和堂A P草津店	H29. 3. 22～3. 27	20	4, 652, 934
近鉄草津店食品売場催事	近鉄草津店 1階	H29 年度 5 回実施	7	2, 773, 805
第2回近江湖国のええもんうまいものフェア	近鉄草津店 4階	H29. 5. 10～5. 16	37	15, 372, 244
全日本ロータリークラブ 合唱祭	びわ湖ホール	H29. 6. 17	7	613, 000
センチュリー21 ゴルフナメント	瀬田ゴルフクラブ	H29. 7. 21	3	1, 714, 400
第36回江州音頭フェスティバル	京都勧業館	H29. 8. 10	7	526, 850
鴨川納涼2017	京都鴨川西岸河川敷	H29. 8. 5～8. 6	1	361, 000
京都伊勢丹地下催事	京都伊勢丹地下 2階	29 年度 4 回実施	5	2, 292, 921
ここ滋賀催事出展	ここ滋賀	29 年度 5 回実施	5	762, 567
第13回滋賀のええもんうまいもん祭り	西武大津店	H29. 10. 4～10	51	17, 360, 330
近江うまいもんええもん市	ビバシティ彦根	H29. 10. 13～17	20	5, 588, 472
近江味紀行	高島屋日本橋店	H29. 11. 8～14	10	10, 077, 551
おいでーな滋賀 in 名古屋	金山総合駅連絡口	H30. 1. 14	5	207, 840
第30回記念大近江展	高島屋日本橋店	H30. 3. 7～1. 12	46	68, 433, 000
本部 合計	25 事業		224	130, 736, 914

<滋賀県東京観光物産情報センター実施>

名 称	開 催 場 所	開催期間	参加数	販売実績(円)
ふるさと観光大使タボくん館長	ゆめぷらざ滋賀	H29. 7. 2～7. 3	2	228, 455
東京 合計	1 事業		2	228, 455

展開事業合計（本部+東京 平成29年4月～平成30年3月）

参加者数：延べ226者（昨年202者） 総売上額：130,965,369円（前年比：102.9%）

- ② バイヤーを対象とした物産展示会への出展
 第52回スーパーマーケットトレードショーに
 昨年に引き続き出展した。
 開催日時：平成30年2月14日(水)～16日(金)
 開催会場：千葉幕張メッセ
 出展者数：6会員
 来場者数：88,121人



③ 物産振興奨励事業

事業名	実施年月日	主催者名	補助金(円)
「びわ湖環境ビジネスメッセ」 物産展	H29. 10. 18 ~ 10. 20	(公社)彦根観光協会 会長 一圓 泰成	20,000
金山キャンペーン	H30. 1. 14	びわ湖大津観光協会 会長 稲地 利彦	20,000
左義長まつり物産展示即売会	H30. 3. 17 ~ 3. 18	近江八幡観光物産協会 会長 森嶋 篤雄	20,000
高島まるごと百貨店 スプリングフェア	H30. 3. 17 ~ 3. 18	びわ湖高島観光協会 会長 前川 為夫	20,000

(2) 首都圏観光物産情報発信事業

- ① 滋賀の物産を紹介するWEBコンテンツの見直しと充実

物産振興部会員のおすすめメニューや商品を紹介する「滋賀・びわ湖 旬のイチオシ」WEBコンテンツ稼働に向け平成30年2月20日(火)にティザーサイト(予告サイト)をイチオシグルメ、イチオシおみやの分類で計18者紹介
 平成30年度より本格稼働へ移す。

- ② 観光物産情報センターにおける物産展示、販売の実施

県から管理運営を受託している滋賀県東京観光情報センター(ゆめプラザ滋賀)において、10月29日(日)の閉店日まで、首都圏における振興拠点として本県物産の展示紹介と販売を行った。



- ③ 県首都圏情報発信拠点等における物産振興

10月29日(日)に開業した首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」でスタートアップフェアとして5回(毎月)テーマを決めて企画催事出展し、県内特産品の振興を図った。

(3) 観光土産品審査等事業

- ① 第52回全国観光土産品公正取引協議会愛知大会への参加

日時：平成29年10月12日(木)～13日(金)
 場所：名古屋観光ホテル

参加者：滋賀県観光土産品公正取引協議会会長 芝田冬樹、事務局長 天川隆男

② 第58回全国推奨観光土産品審査会への参加

主催：日本商工会議所・全国観光土産品連盟

審査日：平成29年11月30日(木)

審査会場：TKP ガーデンシティ御茶ノ水

参加企業数：3社3品目・・・すべて推奨品として認定された。

推奨期間：平成30年4月1日～平成32年3月31日

(4) オリジナル商品の開発検討

物産振興部会員のコラボレーションによるオリジナル商品を20者より28品目が出品
12月13日(水)に「コラボしが21」にて販売先7社とマッチング商談会を開催し延べ
97商談を行った。

【商談結果】今後展開予定24品目 現在検討中 24品目

(5) 2017食博覧会・大阪

開催日時：平成29年4月28日(金)～5月7日(日)

開催会場：インテックス大阪

出展者数：2組合

- ・滋賀県酒造組合
- ・滋賀県水産加工業協同組合

来場者数：621,195人

売上高：2,970,000円

(前回2013年売上高：610,340円)



(6) 第13回滋賀のええもんコンクール

平成29年10月4日(水)から10月10日(火)まで、大津市の西武大津店で「滋賀のええもんコンクール」を開催し、滋賀県で生産されている物産振興部会員の特産品を展示して、来場者より気に入った商品に投票していただいた。また昨年度からの上位10品目はビューローのホームページ掲載に加え、今年度からは西武大津店の1、2階で上位10品目のパネル訴求を行い、広くコンクール上位品の紹介を行った。

会場 西武大津店 6階

参加企業数等 47社(47商品) 昨年は46社(46商品)

食品36社(36商品)、民芸品11社(11商品)

投票総数 2,172票 (昨年2,893票)

結果

- ・総合一位：近江今津西友「うなぎ茶漬」 154票
- ・総合二位：唐橋焼窯元「ストライプマグカップ(ペア)」 153票
- ・総合二位：ホソイフクロモノ「キャンバストートバッグ」 153票

II 「滋賀ならではの」の素材や強みを生かした特色あるツーリズムの展開」

1. 国内誘客の推進

(1) 大型観光キャンペーンに向けた取り組み

① 大型観光キャンペーンの推進

平成30年度に開催が予定されている滋賀県の大型観光キャンペーンに向けて、市町、観光協会、観光事業者、交通事業者等と協力し、キャンペーン事業の準備、広報・プロモーション、受け入れ体制の整備等を行った。

ア 大型観光キャンペーンの準備等

(ア) 官民が一体となった観光キャンペーンの実施に向け、滋賀県大型観光キャンペーン推進協議会（会長：滋賀県知事、事務局：滋賀県）の設立協力。

設立総会 平成29年8月29日（火）

作業部会 第1回 平成29年10月4日（水）

第2回 平成29年12月22日（金）

第3回 平成30年3月15日（木）

(イ) 観光キャンペーンで展開する各事業の具体化に向けて、県、市町、観光協会および関係事業者等と連携・調整し、キャンペーンを円滑に実施するための実施計画書を作成した。

- ・オープニングイベント・特別企画
- ・地域観光プログラム（まちめぐり事業）
- ・来訪・周遊促進事業
- ・受入環境整備
- ・広報・PR・プロモーション事業

(ウ) 各地域が観光キャンペーンで展開する地域観光プログラムの造成を促進するため、各市町・観光協会を訪問し、地域素材の洗い出しやプログラム化に向けた意見交換等を行い、旅行商品化PRツール（タリフ）を作成するとともに、地域プログラムの充実を図った。

- ・旅行商品化PRツールの作成 上期タリフ 45プログラム
下期タリフ 46プログラム
- ・地域観光プログラムの提案 320プログラム以上

イ 大型観光キャンペーンの広報・プロモーション

(ア) 日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博 交通広告掲出

時期：平成29年9月27日～平成29年10月31日

場所：山陽新幹線車内、大阪環状線ADトレイン、JR西日本快速中吊り、京都市営地下鉄等

内容：日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博 PR

(イ) 日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博 PR5連ポスター制作および掲出



時期：平成 29 年 11 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日

場所：全国 JR 6 社 主要駅 約 800 駅

内容：滋賀県内の日本遺産を取り上げた

5 連のポスター掲出

(ウ) 日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博ウェブサイトの制作・運営

時期：ティザーサイトアップ 5 月 本サイトアップ 8 月

内容：日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博を PR するウェブサイトを制作・運営した。

セッション数：36, 286 件（3 月末まで）

ユーザー数：29, 377 件（3 月末まで）

ページビュー数：88, 329 件（3 月末まで）

(エ) 滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」に向けての素材撮影

内容：次年度実施する滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」での各種広告等に使用する素材として、滋賀ふるさと観光大使西川貴教氏を起用した動画、写真等を制作した。

(オ) 滋賀県観光キャンペーン予告サイトの公開

(カ) 交通メディアを活用した情報発信

ウ 旅行商品化提携事業

各旅行会社において、滋賀県を目的地とした旅行の商品化や、企画段階から積極的に関与した旅行商品の造成を目的として、個人旅行商品や団体旅行商品のパンフレット作成や広報宣伝経費の一部を補助する事業に取り組んだ。

	旅行会社	部署	助成予定額 (助成限度額)
1	株式会社 J T B 国内旅行企画	仕入商品本部	810, 000
2	株式会社 J T B 国内旅行企画	西日本事業部	100, 000
3	近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社	首都圏第 2 国内企画センター	330, 000
4	株式会社日本旅行	赤い風船東日本事業部	360, 000
5	クラブツーリズム株式会社	地域交流部	1, 000, 000
6	株式会社阪急交通社	東日本メディア	390, 000
7	株式会社 JTB メディアリテリング		110, 000
8	株式会社チケットスター（楽天トラベル）		1, 399, 800
	合 計		4, 499, 800

エ 観光展への出展

(ア) ツーリズムエキスポジャパン 2017

日時：平成 29 年 9 月 21 日（木）～9 月 24 日（日）

場所：東京ビッグサイト

主催：日本観光振興協会・JATA・JNTO

参加市町：大津市、長浜市、米原市、彦根市、守山市

内容：ミニビワイチ、袴着付け体験、甲冑体験、ステージ PR、
パンフレット配布



(イ) SONY ストアぐるっと博 PR

日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）

場所：大阪 SONY ストア

主催：日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会

内容：パンフレット配布



(ウ) 旅まつり名古屋 2018

日時：平成 30 年 3 月 17 日（土）～3 月 18 日（日）

場所：名古屋市中区栄・久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場

主催：旅まつり名古屋実行委員会

参加市町：長浜市・米原市

内容：ブース PR、ステージ PR、パンフレット配布

オ 地域の受入体制整備への支援

滋賀県大型観光キャンペーン受入体制整備事業を執行した 6 市町および観光協会へ補助を行った。

(ア) 着地型観光促進事業

東近江市、近江八幡観光物産協会、栗東市観光物産協会、びわ湖高島観光協会

(イ) 観光トイレ洋式化整備促進事業

大津市、米原市

カ その他

(ア) 滋賀・びわ湖フリーきっぷ（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

販売実績（累計） 2,507 件 ※3 月末現在

販売地区 東日本 1,361 件（54.3%）、東海 654 件（26.1%）、九州 372 件（14.8%）

商品設定 JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、JR 東海ツアーズ、びゅう

(イ) 京都・若狭路・びわ湖ぐるっとドライブパス 2017（平成 29 年 7 月 1 日～11 月 30 日）

申込者数 10,088 件

（3 日間プラン 1,575 件、2 日間プラン 3,897 件、休日 2 日間プラン 4,616 件）

② 滋賀の日本遺産情報の発信

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会において開催する「日本遺産 滋賀・びわ湖水の文化ぐるっと博」に合わせて、県内の日本遺産構成文化財の現地において、

日本遺産のストーリーの理解を図り、誘客につなげるための文化講座を開設した。

ア 日吉大社と水の信仰

平成 29 年 10 月 21 日（土） 参加者 10 名

イ 長命寺雑考～伝説に彩られた命寺～

平成 29 年 11 月 11 日（土） 参加者 12 名

ウ 近江大津京ゆかりの古刹～不死鳥の寺・三井寺の歴史と国宝建築の美～

平成 29 年 12 月 2 日（土） 参加者 4 名

(2) 魅力的な観光素材の開発

① ビワイチ観光推進事業

「ビワイチ」に代表されるサイクルツーリズムを中心に体験型観光を発信した。

ア 広報媒体による情報発信

月刊誌への連載をまとめた書籍の発行、パンフレットにより広報を行った。

(7) 月刊誌連載

雑誌名 : 月刊誌「CYCLE SPORTS」(八重洲出版発行)

掲載号 : 平成 29 年年 9 月号 (7 月 20 日発売)

10 月号 (8 月 20 日発売)

11 月号 (9 月 20 日発売)

12 月号 (10 月 20 日発売)

1 月号 (11 月 20 日発売)

内容 : ビワイチサイクリングルートおよび周辺施設の紹介



9 月号



10 月号



11 月号



12 月号



1 月号



(4) ムック本「ニッポンのじてんしゃ旅 滋賀編」発刊



雑誌名：「ニッポンのじてんしゃ旅 滋賀編」（八重洲出版発行）
（3月30日発売）

内 容：9～1月号の月刊誌連載をベースにビワイチサイクリング
ルートおよび周辺施設の紹介を行った。

(f) ビワイチサイクリングツーリズムパンフレットの作成

内 容：ビワイチサイクリング初心者に、ビワイチの魅力・楽しさを伝え、
興味を持ってもらえるパンフレットを作成した。

印刷部数：10,000部

サイズ：A3
二つ折り



イ サイクルイベントへの参画

日本最大のスポーツ自転車フェス「サイクルモードインターナショナル」に出展し、ビワイチサイクルツーリズムの主要ターゲット層に情報を提供した。

イベント名：CYCLE MODE international 2017

期 日：平成29年11月3日（金・祝）～11月5日（日）

場 所：幕張メッセ



ウ キーパーソンによる情報発信

サイクルツーリズムの情報発信に影響力のあるキーパーソンを招請し、ビワイチの魅力を経験してもらうことで情報発信につなげた。

(7) 欧州サイクリング協会 マンフレッド理事長招請事業

期 日：平成29年10月5日（木）～7日（土）

行 程：大津市 なぎさ公園、長浜市、高島市 白浜荘前ビーチ

内 容：ヨーロッパのサイクリストに影響のあるマンフレッド氏を招聘し、当イベントの様子をレポート発信してもらった。

参加者：6名 マンフレッド 欧州サイクリング協会理事長

蘇成田 中華大学観光学院荣誉院長、久華旅行社 董事長他4名



(イ) インサイドジャパン・ツアーズ社 サイモン代表招請事業

期 日：平成 29 年 11 月 17 日（金）～18 日（土）

行 程：米原市、長浜市、菅浦、海津大崎、メタセコイア並木、竹生島、彦根市

内 容：ビワイチを活用した訪日旅行者の本県への誘致に繋げるため、一般社団法人中央日本総合観光機構 C O O のアシュリー・ジョン・ハーヴィー氏および同氏より紹介のあったインサイドジャパン・ツアーズ社（英国）代表のサイモン・キング氏を招請し、ビワイチ体験してもらった。

参加者：サイモン・キング氏（インサイドジャパン・ツアーズ社 代表）

アシュリー・ジョン・ハーヴィー氏

（一般社団法人日本中央総合観光機構 C O O）

松本菜実氏

（一般社団法人日本中央総合観光機構 担当課長）



エ ビワイチモニターツアー

期 日：平成 29 年 10 月 12 日（木）～10 月 16 日（月）

行 程：ビワイチサイクリングマップの推奨モデルコース（ビワイチプラス）に掲載する観光スポット（メタセコイア並木や彦根城跡）をめぐる。

内 容：本年 5 月に来県した「自転車新文化基金會 会長 羅祥安氏（GIANT 社前 CEO）」との交流を得たことから、同基金會（同会長）の協力を得て、台湾の自転車愛好家等を集めたビワイチサイクリングツアーと連携したモニターツアーを行った。

参加者：26 名 自転車新文化基金會 会長 羅祥安氏（G I A N T 社 前 C E O）

同基金會が募集した参加者（台湾の自転車愛好家等） 25 名



オ WEBでの情報発信

ビワイチサイクリングサイトを活用した情報発信を行った。

カ ロケ地周遊サイクルーツリズム

期 日：平成 30 年 3 月 27 日（火）～3 月 28 日（水）

行 程：推奨モデルコース（ビワイチプラス）を中心に、米原出発→長浜、高島、草津、守山、近江八幡、東近江、彦根の順に琵琶湖を 1 周した。

内 容：映画「関ヶ原」に出演され、滋賀県にゆかりのある円地晶子氏に来県いただき、推奨モデルコース（ビワイチプラス）に沿った滋賀県内のロケ地や観光スポット、およびサイクリスト向けに積極的な取り組みを行っている宿泊施設、飲食施設に立ち寄り、その魅力を発信していただくことにより、現在大きく盛り上がっている「ビワイチ」を中心としたサイクルーツリズムの促進を図った。

参加者：円地晶子氏（女優）



② 四季の滋賀の魅力発信「本物の滋賀」“おもてなし旅”の開催

観光オフシーズンである冬の滋賀の魅力づくりとして、平成 27 年度から開始した「びわ湖灯り絵巻」イベントを、関係市町観光協会等と連携し、県内 9 会場（長浜、彦根、近江八幡、草津、信楽、奥永源寺、大津 2 会場、高島）で、観光誘致「びわ湖灯り絵巻」虹色イルミネーションイベントを開催し誘客に努めた。

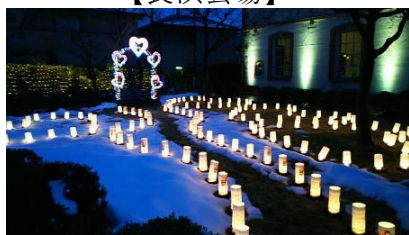
ア 第 4 回「びわ湖灯り絵巻」虹色イルミネーションイベントの実施

開催日：平成 30 年 2 月 10 日～14 日 5 日間

ロケーションオフィスと連携し、映画「曇天に笑う」とコラボ。

映画の特別展やスタンプラリー、フード企画「天井に笑う」を行った。

【長浜会場】



【彦根会場】



【草津会場】



【信楽会場】



【奥永源寺会場】



【近江八幡会場】

【大津会場 ①】



【大津会場 ②】



【高島会場】



③ 琵琶湖周航の歌 100 周年記念事業

琵琶湖周航の歌 100 周年を記念し、関連の観光資源への訪問・周遊を促進するため、琵琶湖周航の歌にかかる歌碑や観光地等を巡るマップを作成するとともに、地域ワークショップの開催やモニターツアーを実施した。

ア 周航の歌等のびわ湖周遊情報の発信

時期：平成 30 年 3 月 6 日 (火)

場所：大津港～今津港、今津東コミュニティーセンター「大ホール」

参加者：観光事業者、行政関係者、観光協会関係者、旅行会社関係者等 49 名

内容：琵琶湖湖上での実地観測、セミナー、ワークショップ等

イ 琵琶湖の魅力体感促進ツアーの実施

時期：A 平成 30 年 3 月 23 日 (金)～24 日 (土) 一般対象

B 平成 30 年 3 月 25 日 (日)～26 日 (日) 学生対象

場所：滋賀県内琵琶湖周航の歌歌碑等

参加者： A 一般 22 名 B 学生 13 名

内容：歌碑を中心とした県内周遊モニターツアー

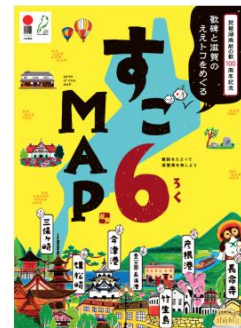
ウ びわ湖一周すごろく MAP の作成

作成日 平成 29 年 10 月 1 日

作成部数 20,000 部

配布場所 県内各観光拠点、ここ滋賀等

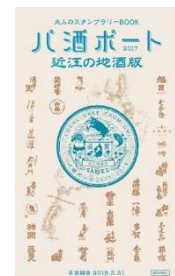
内容 周航の歌歌碑の作成、滋賀県を巡る双六、歌碑周辺の観光情報、等



④ 近江の地酒普及促進事業

滋賀にある 32 の酒蔵紹介のほか、近江米や琵琶湖八珍などを説明した「パ酒ポート」を作成。酒造所をめぐるスタンプラリーも行い、周遊促進を図った。県内外の書店のほか、各酒造所、宿泊施設、ネットなどを活用した販売を行った。

発行部数：5,000 部 販売数：4,205 冊



⑤ おいで～な滋賀体感フェアの実施

イナズマロックフェスティバルの開催に合わせて、県外からの参加者に滋賀での体

験型観光のPR等を行った。9月16日（土）・17日（日）2日間の開催予定が、台風のため16日のみの開催となった。（出展者数20団体）

2. 国際観光推進事業

（1）ターゲットを意識した情報発信・誘客の強化

成熟市場である台湾など東アジアについては、広域連携の枠組みや市町との連携を図りプロモーションを継続し、さらに成長が見込まれる東南アジアについて過去2か年度にわたるトップセールスの成果を踏まえた着実なセールスを実施。新規開拓市場の欧州について、認知度向上に向けたプロモーションに着手した。

① 特定ターゲットへのプロモーション（欧州地域）

本県の特色ある自然、歴史、文化など観光資源への関心が高いと期待される欧州市場に対し、現地旅行博出展や現地日系旅行会社へのセールスコールを実施。

・海外旅行博への参加

3月14日～18日 市内セールスコールおよびフランス旅行博SMT2018出展

② 特定ターゲットへのプロモーション（東南アジア地域）

トッププロモーションのフォローアップとして、成長市場として期待される東南アジア地域で開催される現地旅行博に出展し、誘客強化を図った。

・海外旅行博への参加

2月7日～11日 タイ国際旅行博（第22回TITF）

③ 訪日観光客向けパンフレット等情報発信ツールの整備

本県の認知度向上に向け、ターゲット国に訴求力の高い本県観光素材を紹介するパンフレットを仏語で作成、また訪日外国人FIT化に対応し、県内周遊ツールとしてパンフレットを英語版で作成した。

ア 新規市場開拓に向けた仏語版パンフレットの作成

・作成部数 5,000部

・納品 平成29年9月

・配架先 フランス国内：イベント会場、文化施設、旅行AGT等
日本国内：観光案内所、空港等

イ 訪日観光客向け英語版パンフレットの作成

・作成部数 40,000部

・納品 平成29年9月

・配架先 海外：旅行AGT、旅行博覧会等
日本国内：観光案内所、空港等

④ 北陸圏との官民広域連携による海外誘客事業

「北陸新幹線を活用した官民広域連携事業」により沿線県と連携し、新たなゴールデンルート確立を目指してBtoC向けの観光情報冊子を作成し、ルートの魅力向上と情報発信力の強化を図った。

ア FIT 向け北陸新幹線沿線情報誌（英語版）の作成

- ・作成部数 90,000 部（うち 2,000 部を当県に納品）
- ・納品 平成 29 年 8 月
- ・配架先 海外：旅行博覧会、JNTO 海外事務所
日本国内：国内主要ゲートウェイ、沿線主要駅

⑤ 海外向け発信事業

ア 民間の発進力を活用した情報発信の強化

県単独での発信作業のほか、関西観光本部や中央日本総合観光機構など広域連携の枠組を活用した招請事業、他県との連携による旅行 AGT へのセールスなどのプロモーションにより、本県の魅力を発信。

- ・連携先：関西本部、中部広域観光推進協議会等

- 4 月 13 日 国際交流員を活用した情報発信/海津大崎
- 4 月 22 日 UK Samurai Challenge Rally へのノベルティグッズ提供
- 5 月 6 日 スイスエージェントによる彦根市内視察
- 6 月 1 日 (一社) 中央日本総合観光機構 CEO による本県視察
- 8 月 8 日 国際交流員を活用した情報発信/花火大会、グルメマップ掲載飲食店
- 9 月 4 日～8 日 タイ「昇龍道」ミッション団派遣事業
- 9 月 5 日～9 日 関西観光本部 台湾大商談会
- 9 月 14 日 フランス Nippon100 フランス人ブロガー招請
- 10 月 2 日 中央日本総合観光機構 メディア招請によるプロモーション事業
- 10 月 11 日 スカイシークルーズ敦賀港視察に伴う長浜市視察
- 10 月 16 日～22 日 ASAHI メディアライター招請
- 10 月 25 日 関西観光本部アジア市場における関西 PR 事業 ブロガー招請
- 11 月 1 日 ロイヤルカリビアンインターナショナル副社長による彦根、長浜視察
- 11 月 2 日 京都ジャーナルによる湖西地区取材、視察
- 11 月 16 日 JCMU 留学生を活用した情報発信/八幡堀、水郷のさと丸山
- 12 月 2 日 国際交流員を活用した情報発信/叶匠壽庵
- 12 月 5 日 関西観光本部広域観光周遊ルート 香港メディア招請
- 12 月 20 日～21 日 香港 WEEKEND WEEKLY MAGAZINE による近江八幡市、信楽、甲賀、沖島取材
- 1 月 22 日 県内在住外国人を活用した情報発信/信楽陶芸村
- 1 月 22 日～24 日 ICHIBAN JAPAN フランス Youtuber 招請
彦根市、長浜市、信楽、近江八幡市
- 1 月 23 日 平成 29 年度宿泊施設・ホテル等に対する観光情報現地説明会
(京都、大阪のホテルコンシェルジュによる現地観光施設視察)
大津港、叶匠壽庵、松喜屋、甲賀忍術村、信楽陶芸村、

MIHO MUSEUM

- 1月25日 関西観光本部 AIR CANADA KANSAI FAM TRIP
- 2月17日 JCMU留学生を活用した情報発信/おごと温泉、三井寺
- 3月8日 フランスから訪日商品取扱い旅行社へのセールスコール
東武トップツアー、ミキ・トラベル、ミキ・ツーリスト

イ 海外向け情報提供

マップやリーフレットの改訂や増刷を行った。

- ・会員紹介英語マップ Map of SHIGA を改訂増刷
- ・滋賀の旅 タイ語改訂（7月）、フランス語増刷（9月）、ベトナム語増刷（11月）、繁体字増刷（1月）

ウ 国内旅行博や商談会、会議等への参加

- 7月10日 昇龍道プロジェクト推進協議会第3回マーケティング部会
(タイ市場)
- 9月14日 JNTO インバウンド旅行振興フォーラム
- 9月21日～23日 ビジットジャパントラベルマート2017
- 9月27日 中部地区インバウンド・ゴルフツーリズムセミナー
- 9月29日 関西観光本部ランドオペレーター関西ネットワークミーティング
- 10月19日 関西観光本部インバウンドセミナー
- 11月8日 欧米豪インバウンド促進セミナー
- 11月29日～30日 ビジットジャパン ASIAN・INDIA トラベルマート
- 1月29日 JNTO 第2回滋賀県海外展開支援推進ネットワーク会議
- 1月30日 第5回NORASHIGA研究会
- 2月2日 第19回JNTO インバウンド旅行振興フォーラム
- 2月13日 平成29年度関西地区ゴルフツーリズム意見交換会
- 2月14日 NORASHIGA研究会朝宮モニターツアー
- 2月28日 中部国際空港利用促進セミナー
- 3月8日 第28回滋賀県留学生交流推進会議総会
- 3月12日 第1回関西連絡ブロック会議
- 3月20日 関西観光本部インバウンド交流会、案内セミナー

⑥ 訪日教育旅行の誘致

学校交流の促進を図るとともに、訪日教育旅行誘致協議会事業等により誘致を進めた。

ア 学校交流

- 4月19日 台湾・忠明高級中学 38名と彦根東高校との学校交流
- 5月19日 マレーシア・SMK Seri Sentosa 高校 23名と水口東高校との学校交流
学校交流

- 5月23日 台湾・南港高級中学 39名と国際情報高校との学校交流
 - 6月5日 台湾・桃園国民中学 30名と立命館守山中学校との学校交流
 - 6月30日 台湾・弘道中学 18名と立命館守山中学校との学校交流
 - 11月6日 台湾・中興高校 32名着付け体験/近江神宮
 - 12月4日 台湾・大有國民中学 52名と打出中学校との学校交流
 - 12月12日 台湾・國立内壠高級中学 36名おうみんち体験
 - 12月12日 台湾・桃園国民中学 27名と立命館守山中学校との学校交流
 - 12月13日 台湾・台北科技大学附属桃園農工高校と八幡工業との学校交流
- イ 会議体への参加、誘致事業等
- 5月22日 台湾教育旅行誘致協議会 平成29年度総会
 - 6月19日～23日 訪日台湾教育旅行現地説明会、セールススクール
 - 10月17日 ビジットジャパン台湾訪日教育旅行促進事業日台教育旅行交流会
 - 11月2日 関西観光本部 JTB INDIA教育旅行ツアー/おうみんち、
甲賀忍術屋敷、日野町民泊
 - 11月30日 台湾昇道教育旅行訴求事業 旅行社招請
近江八幡市、守山市、日野町、甲賀信楽、大津市
- ⑦ 商談会・セールススクールへの地場製品の活用
現地 AGT 訪問時等に、地場産品を土産物として PR を図るなどした。
(えびせんべい、湖東麻織物、淡水真珠など)

(2) 魅力ある周遊ルートの開発

① 県内研修会やセミナーの実施

会員自身による海外や国内でのプロモーション活動に役立てるため、県内観光施設における研修会の実施やスキルアップセミナーを実施する。

10月18日 第1回インバウンド部会講演会の開催

場所：ホテルボストンプラザ草津びわ湖

講師：(株)やまところ 中澤 龍 氏

内容：インバウンドの最新動向

3月6日 首都圏インバウンド取扱旅行会社 L O P 商品造成・手配担当者と滋賀県内観光事業者との商談会

場所：東京新宿区 インバウンドリーグ

② 団体・F I T 向けモデルコースの新規造成、改定

県内観光地への周遊増加を図るため、魅力あるモデルコースを開発し情報発信を図る。

2月26日(月)実施

③ 海外旅行博参加会員への助成

インバウンド部会事業として認定した海外旅行博等へ参加する部会員へ助成
・台湾大商談会参加3事業者(3名)に助成

- ・タイ T I T F 1 事業者（1名）に助成

(3) 受入体制の整備等

① 受入県内宿泊施設多言語コールセンターの事業

京都府、京都市、奈良市、大津市と連携し、平成27年度に開設した宿泊施設向け多言語コールセンター事業を継続。

② 会議体への参加

2月23日 外国人観光客宿泊施設向け24時間多言語コールセンター担当者会議

3. 教育旅行誘致事業

(1) 教育旅行誘致促進事業

① 誘致キャラバン事業

ア 平成29年度首都圏等教育旅行誘致キャラバン

前年度に引き続き「教育旅行誘致キャラバン」を実施した。

第1回は首都圏等の旅行会社をそれぞれ訪問し、県内のPRなどの誘致促進を図るとともに、発地における修学旅行の現状など情報収集を行った。

(ア) 「平成29年度首都圏等教育旅行誘致キャラバン結団式」の実施

日時 平成29年6月16日（金） 14時～

場所 コラボしが21 6階 労働福祉セミナー室

参加者 三日月知事、部会員17名、非部会員1名、県職員2名、BVB4名 計25名



(イ) 「平成29年度首都圏等教育旅行誘致キャラバン」の実施

日時 平成29年7月5日（水）～6日（木）

訪問先 東京、埼玉、千葉、神奈川、静岡、茨城、栃木、福岡、福井、石川、富山、新潟(上越)の大手旅行会社および地元旅行会社

参加者 部会員20名、非部会員2名、BVB2名 計24名

イ 平成29年度第2回教育旅行誘致キャラバン

第2回は九州、中四国地方の旅行会社をそれぞれ訪問し、県内のPRなどの誘致促進を図るとともに、発地における修学旅行の現状など情報収集を行った。

(ア) 「平成29年度第2回教育旅行誘致キャラバン結団式」の実施

日時 平成29年9月20日（水） 13時30分～

場所 コラボしが21 3階 中会議室2

参加者 部会長、部会員10名、BVB5名 計16名

(イ) 「平成29年度第2回教育旅行誘致キャラバン」の実施

日時 平成29年10月11日（水）～12日（木）

訪問先 福岡、佐賀・長崎、熊本・鹿児島、沖縄、山口・広島、愛媛・香川の大手旅行会社および地元旅行会社

参加者 部会員16名、BVB1名 計17名



ウ 平成 29 年度第 3 回教育旅行誘致キャラバン

第 3 回は「東海キャラバン」として、愛知、三重、岐阜方面の旅行 A G T を訪問し、県内の P R などはもとより、校外学習や合宿も含めた情報収集を行った。



(7) 「平成29年度第3回教育旅行誘致キャラバン結団式」の実施

日 時 平成30年2月9日（金） 13時30分～
場 所 コラボしが21 3階 中会議室 1
参加者 部会長、部会員12名、BVB5名 計18名

(4) 「平成29年度第3回教育旅行誘致キャラバン」の実施

日 時 平成30年2月16日（金）
訪問先 愛知県、三重県、岐阜県並びに静岡県浜松の大手旅行会社および地元旅行会社
参加者 部会員17名、BVB2名 計19名

※同日、夕刻より(株)近畿日本ツーリスト中部の教育旅行担当者と情報交換会

日 時 平成30年2月16日（金）
場 所 ロイヤルパークホテルザ名古屋
参加者 近畿日本ツーリスト中部 11 名、部会員 14 名、BVB2 名計 27 名

エ 学校教員対象誘致説明会の開催等

(7) 埼玉県「平成29年度第1回修学旅行対策部研究協議会」でのP R

全国修学旅行研究協会の協力を得て、関東地区公立中学校修学旅行委員会加盟の埼玉県の各研究協議会において誘致説明会を実施した。

日 時 平成29年6月20日（火） 14時00分～
場 所 埼玉県 ホテルブリランテ武蔵野
参加者 埼玉県内中学校長18名、全修協4名、
井上部会長、いまい運営委員、丸山



(4) 東京都中学校長会修学旅行対策委員会研修会でのプレゼンによるP R

日本修学旅行研究協会の協力を得て、東京都中学校校長会において、滋賀県誘致P Rによるプレゼンを実施した。

日 程：平成30年2月20日（火） 15時00分～
場 所：新宿区立落合中学校（多目的室）にて開催
新宿区下落合2-24-6（最寄駅：高田馬場）

参加者：都内公立中学校の地区代表校長 48 名（離島含む）、日修協 2 名
BVB 事務局 3 名、井上部会長といまい運営委員 計 5 名

内 容：滋賀県の教育旅行誘致ならびに受け入れ最新情報について（約 25 分）

※スクリーンなし、紙資料での説明

② 旅行会社現地社員研修会事業

今年度は前年度の3社から、東武トップツアーズ(株)を加えた4社に拡大し、大手旅行会社教育旅行担当者による「滋賀・びわ湖1泊2日現地研修会」を実施した。

ア (株) J T B 教育旅行担当者現地研修

(J T B コーポレートセールス、 J T B 関東、 J T B 東北の三社合同)

日 程 平成29年7月25日(火)～26日(水)

参加者 J T B コーポレートセールス21名、 J T B 関東14名、 J T B 東北4名

J T B 国内旅行企画2名 計41名

(交流会参加者) 部会員23名、 B V B 5名

行 程

(25日) 京都駅⇒(比叡山ドライブウェイ/夢見が丘) ⇒比叡山延暦寺/延暦寺会館
⇒(奥比叡ドライブウェイ) ⇒おごと温泉地区視察⇒びわこ緑水亭

(26日) おごと温泉⇒B S C⇒びわ湖バレイ⇒琵琶湖ホテル/ミシガン見学⇒

アヤハレークサイドホテル⇒奈良市内

施設説明会、交流会：25日(火) びわこ緑水亭

イ (株) 日本旅行教育旅行担当者現地研修

日 程 平成29年8月2日(水)～3日(木)

参加者 日本旅行18名

(交流会参加者) 部会員23名、

B V B 5名



行 程

(2日) 京都駅⇒比叡山坂本駅⇒琵琶湖グランドホテル⇒びわこ緑水亭

(3日) おごと温泉⇒B S C⇒水荃焼陶芸の里⇒安土城付近視察⇒彦根 (昼食、彦根ス
カリアドベンチャー等にて体験) ⇒ J R 米原駅

施設説明会、交流会：2日水 びわこ緑水亭



ウ 近畿日本ツーリスト(株)教育旅行担当者現地研修

日 程 平成29年8月22日(火)～23日(水)

参加者 近畿日本ツーリスト17名

(交流会参加者) 部会員16名、 B V B 5名

行 程

(22日) 京都駅⇒大津駅⇒アヤハレークサイドホテル⇒びわこの千松⇒びわ湖大津プリ
ンスホテル⇒プリンスホテル港 (琵琶湖汽船 リオグランテ) 今津港⇒今津サ
ンブリッジホテル⇒白浜荘

(23日) 白浜荘⇒白鬚神社⇒雄山荘⇒暖灯館きくのや⇒びわこ緑水亭⇒琵琶湖グランドホテル⇒
J R おごと温泉駅

施設説明会：22日(火) 琵琶湖汽船船中 (一部、白浜荘)

交流会：22日(火) 白浜荘



エ 東武トップツアーズ(株)教育旅行担当者現地研修

日 程 平成29年8月29日(火)～30日(水)

参加者 東武トップツアーズ28名

(交流会参加者) 部会員13名、BVB5名

行 程

(29日) 京都駅八条口⇒大津港(琵琶湖汽船乗船)におの浜港⇒(びわ湖大津プリンスホテル)

アヤハレークサイドホテル⇒琵琶湖グランドホテル ※近江鉄道バス利用

(30日) 琵琶湖グランドホテル⇒宿泊施設見学⇒(※班別) ①BSC、②比叡山延暦寺/延暦寺会館⇒京都市内

施設説明会、交流会：29日(火) 琵琶湖グランドホテル



③ 日本修学旅行協会および全国修学旅行研究協会への参加

両協会の賛助会員として参加し、季刊誌等の情報に基づく情報収集、発信、誘致対策を行った。

(2) 教育旅行情報発信事業

① 第34回全国修学旅行研究大会「修学旅行情報ブース」の出席

全国修学旅行研究協会が主催する、第34回全国修学旅行研究大会において「修学旅行情報ブース」を出展し、当研究大会に参加した学校関係者等に滋賀県教育旅行の紹介資料、滋賀県マップの各パンフレットをセットにしたファイルを配布した。

日 時 平成29年7月26日(水) 13時30分～17時00分

場 所 ホテルグランドヒル市ヶ谷

参加者 学校関係者 約200名、BVB事務局1名

② 第53回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会への出席

全国修学旅行研究協会が主催する、第53回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会において「修学旅行情報ブース」を出展し、同研究大会に参加した学校関係者等に滋賀県教育旅行の紹介資料、滋賀県マップの各パンフレットをセットにしたファイルを配布した。

日 時 平成29年11月17日(金) 13時00分～16時30分

場 所 ホテルブリランテ武蔵野

参加者 学校関係者 約250名、BVB事務局1名

(3) その他

① 県内宿泊・周遊を伴う修学旅行の誘致および受け入れ

平成27年10月に茨城県笠間市立友部第二中学校での、業者選定プレゼンテーション（JTB関東）に同行したPR活動がきっかけとなり、滋賀県にて連泊および2日間の県内周遊をふくむ修学旅行を催行することとなり、三日月大造滋賀県知事と生徒との交流会や記念品の贈呈等を実施した。

【知事との交流会】

日 時 平成29年6月5日（月）

場 所 比叡山延暦寺根本中堂

参加者 三日月知事、生徒119名、教職員9名、JTB添乗員3名、部会員4名、BVB5名

【記念品】

琵琶湖の箸置き（水茎焼陶芸の里提供）

虹色ノート、ボールペン

【修学旅行行程】

（1日目）

友部駅 ⇒名古屋駅⇒彦根城・夢京橋キャッスルロード
⇒（長命寺）⇒京都体験 ⇒アヤハレークサイドホテル

（2日目）

アヤハレークサイドホテル ⇒三井寺 ⇒京都・奈良市内
⇒峰道レストラン（夕食）
⇒比叡山延暦寺（知事との交流・法話体験）
⇒アヤハレークサイドホテル

（3日目）

アヤハレークサイドホテル⇒京都市内⇒京都駅⇒友部駅



② 教育旅行部会 PR資料作成検討会

教育旅行部会第3回運営委員会で提起された、米原駅利用の促進を含むPR資料の作成について、教育旅行部会運営委員各位を招集して検討会を行った。

日 時 平成29年12月4日（月） 15時より

場 所 コラボしが21 中会議室1

議 題 ・教育旅行部会で使用するマップについて
・米原駅利用の促進と現状について

（4）教育旅行担当者との情報・意見交換会

① 日本旅行(株)関西地区（兵庫・大阪・京都）教育旅行担当者との意見交換会

日 時 平成29年9月20日（水）

場 所 京都駅前 エルイン京都

参加者 日本旅行11名、部会員11名、BVB1名

② 近畿日本ツーリスト中部(株)（東海地区）教育旅行担当者との情報交換会

日 時 平成30年2月16日（金）

場 所 ロイヤルパークホテルザ名古屋

参加者 近畿日本ツーリスト中部 11 名、部会員 14 名、BVB 2 名 計 27 名

4. コンベンション誘致事業

(1) 情報収集・誘致活動

① セミナー・セールス事業

ア 「地方都市コンベンション協議会」への参画

昨年度に引き続き、「地方都市コンベンション協議会」に参画し、首都圏におけるコンベンション情報の収集やPR活動を行っている。

(ア) 合同セールス

5 地区（新潟・松本・びわこ・高松・長崎）合同セールスを実施し、首都圏のコンベンション主催者に対する PR 活動やコンベンションに関する情報の収集を行い、情報共有システムにより 5 地区で共有を図った。

第 1 回合同セールス

日 時 平成 29 年 6 月 13 日（火）～6 月 14 日（水）

場 所 東京都内 各学会・協会等事務局

参加団体 新潟・松本・びわこ・高松・長崎

訪問先 計 53 件

第 2 回合同セールス

日 時 平成 29 年 10 月 17 日（火）～10 月 18 日（水）

場 所 東京都内 各学会・協会等事務局

参加団体 新潟・松本・びわこ・高松・長崎

訪問先 計 53 件

第 3 回合同セールス

日 時 平成 30 年 1 月 31 日（水）

場 所 東京都内 各学会・協会等事務局

参加団体 新潟・松本・びわこ・高松・長崎

訪問先 計 37 件

(イ) 合同セミナー・ワークショップ

5 地区（新潟・松本・びわこ・高松・長崎）やその他のコンベンション誘致団体が合同でセミナー・ワークショップを行い、プレゼンおよび商談会にてPRおよび情報収集を行った。

第 1 回合同セミナー・ワークショップ

コンベンション部会員と協力し誘致に繋げるため、平成 29 年度より部会員に参加を募った。今回は、荒木部会長も参加し、懇親会にてあいさつを行った。

日 時 平成 29 年 7 月 26 日（水）15 時 00 分～20 時 00 分

場 所 東京都千代田区 ホテルグランドアーク半蔵門

参加団体 新潟・松本・びわこ・高松・長崎、岐阜、盛岡（計24名）

来訪者 学会等事務局45団体、担当者66名



第2回合同セミナー・ワークショップ

日 時 平成 29 年 12 月 6 日 (水) 14 時 00 分～18 時 40 分
場 所 東京湾クルーズ シンフォニーモデルナ
参加団体 新潟・松本・びわこ・高松・長崎、和歌山 (計19名)
来訪者 学会等事務局 37 団体、担当者 56 名



第3回合同セミナー・ワークショップ

日 時 平成 30 年 3 月 6 日 (火) 16 時 00 分～20 時 00 分
場 所 東京都千代田区 ホテルグランドアーク半蔵門
参加団体 新潟・松本・和歌山・びわこ・高松・長崎・沖縄 (計22名)
来訪者 学会等事務局、AGT・PCO 32 団体、担当者 56 名

(ウ) その他

「日本地球惑星科学連合同大会」合同ブース出展

地方都市コンベンション協議会が合同で「日本地球惑星科学連合同学会」に賛助会員として参画し、会場でのブース出展での資料配布や地酒バーの出展でPRを行うとともに、学会公式ホームページにバナーを掲出し、情報発信を行った。

日 時 平成 29 年 5 月 23 日 (火) ～24 日 (水)
場 所 幕張メッセ国際会議場 (資料配付)
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 (地酒コーナー)

参加団体 盛岡・新潟・つくば・松本・岐阜・びわこ・和歌山・高松・長崎

「日本分類学会公開シンポジウム」合同ブース出展

地方都市コンベンション協議会が合同で「日本分類学会公開シンポジウム」に協賛し、参加者への資料配布やシンポジウム後の懇親会会場での地酒バーの出展により情報発信を行った。

日 時 平成 30 年 1 月 6 日 (土)
場 所 国立科学博物館 (東京・上野)

参加団体 新潟・つくば・松本・びわこ・和歌山・高松

イ 個別セールス事業

セミナー・セールス事業等の成果を踏まえ、本県への誘致可能性がある学会や団体事務局および旅行エージェントMICE担当者等に個別誘致セールスを行った。

(7) 第63回日本糖尿病学会学術集会の誘致

2020年に開催が予定されている「第63回日本糖尿病学会学術集会」を滋賀県（大津市）に誘致するため、候補会場の仮押さえや輸送計画の策定への支援を行うなど、コンベンション部会として誘致に取り組んだ。

12月24日に実施された糖尿病学会の委員（理事）による視察会には、冒頭のあいさつで三日月知事および大津市の井村副市長にも出席いただいた。

その後の会場視察および検討会議を経て、大津市での開催が内定した。

日 時 平成 29 年 12 月 24 日（日） 10 時 00 分～16 時 00 分

場 所 大津市内各施設（琵琶湖ホテル、大津市民会館、びわ湖ホール、ピアザ淡海、
びわ湖大津プリンスホテル）

- ・琵琶湖ホテルにて知事・副市長によるあいさつ
- ・びわ湖大津プリンスホテルにて検討会議
- ・その他施設は視察のみ

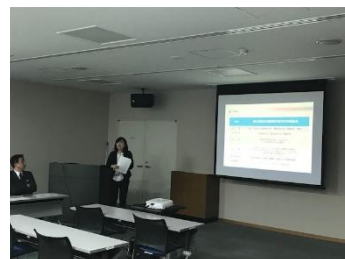
(4) 第 63 回日本糖尿病学会学術集会の関係者説明会

上記の学術集会の受入れに向けて、関係施設や関係事業者、行政の関係部局の担当者を対象に説明会を実施し、学術集会の概要の説明を行った。

日 時 平成 30 年 3 月 19 日（月） 15 時 00 分～16 時 00 分

場 所 コラボしが 2 1 3 階 中会議室 1

参加者 日本コンベンションサービス株式会社 伊藤祐子氏
県内関係者 18 名



② JCCB 部会事業

全国のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している「日本コングレスコンベンションビューロー（JCCB）」に賛助会員として参加し、情報収集や情報発信を行い、誘致の推進に役立てている。

JCCBのホームページに当ビューローのコンベンションガイドや観光パンフレットを掲載している。

- ・「平成 29 年度 JCCB 総会」出席

日 時 平成 29 年 6 月 12 日（月）

場 所 京王プラザホテル（東京）

③ 誘致ツール作成およびHP改修・更新事業

ア （新）誘致ツール作成

合同セミナー・ワークショップに配布するため、前年度に作成したセールスプラ



ン（コンベンションガイド）のデータCDを作成した。

イ （新）ホームページの改修・更新

滋賀県観光情報 WEB サイトに新たにユニークベニューの項目を追加し、滋賀・びわ湖ならではのユニークベニューの一覧を掲載した。

④ 近畿コンベンション連絡会への参画

近畿コンベンション連絡会に参画し、近隣府県の誘致の状況等について、意見交換およびユニークベニュー施設の視察を行った。

日 時 平成 30 年 2 月 23 日 (金)

場 所 大阪中央公会堂、東洋陶磁美術館

(2) 開催の支援

① 滋賀県コンベンション開催助成金

滋賀県内での国際会議・全国大会の開催を支援するため、コンベンション開催助成金を交付している。

助成金の交付決定数 ・国際会議 4 件 全国大会 5 件 （合計 164 万円）

② 観光ガイド・滋賀県観光地図等の無料提供およびキャリーバッグの提供

コンベンション等の参加者に対して観光ガイドや観光地図等のパンフレットを提供した。

支援数 81 件 28,646 人（助成金での支援含む）

③ 主催者に対する情報提供等

コンベンション主催者からの問い合わせに対応し、コンベンション施設やエキスカージョンの情報提供や助成金の情報提供を行うとともに、会場での土産品販売ブースの出展について物産振興部会と連携し調整を行った。

(3) M I C E 研修会の開催

大手旅行会社から M I C E 担当者を講師として招き、コンベンション部会員向けの M I C E 研修会を実施した。

日 時 平成 29 年 10 月 23 日 (月) 15 時 00 分から

場 所 コラボしが 2 1 中会議室

講 師 株式会社 J T B 西日本 M I C E 事業部

営業 1 課 課長 遠山 大輔 氏

※上記の糖尿病学会にも関わっていただいている

参加者 びわこビジターズビューロー コンベンション部会員



(4) 部会員増強への取り組み

県内事業者が一丸となって MICE の誘致に取り組むことを目的に、関係事業者等にコンベンション部会への参画を促し、部会の増強を図っている。部会員総会以降、7 部会員が新たにコンベンション部会に入会されている。

Ⅲ 「来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくり」

1. 観光による地域活性化への支援

(1) 地域観光活性化支援事業

市町、地域観光振興協議会が行う地域観光活性化の取り組みに助成した。

対象事業：着地型観光（街歩きや体験観光）、特別公開などの観光資源の発掘、観光ルートの設定、複数の観光地を結ぶ2次交通アクセスの整備等

（特に「水の文化ぐるっと博」に係るコミュニティーツーリズムに重点的に支援）

事業主体	交付額
湖南地域観光振興協議会	667,000
南びわ湖観光推進協議会	250,000
東近江観光振興協議会	696,000
びわこ湖東路観光協議会	1,378,000
びわ湖・近江路観光圏協議会	1,050,000
北びわこふるさと観光公社	1,099,000
守山市観光物産協会（新）	320,000
野洲市観光物産協会	185,000
湖南市観光物産協会（竜王・信楽）（新）	399,000
東近江市観光協会	521,000
竜王町観光協会（八幡・愛荘）（新）	260,000
湖東三山観光振興連絡会	468,000
長浜観光協会（高島）（新）	280,000
びわ湖一周ロングライド実行委員会	450,000
びわ湖大津観光協会	1,243,000
湖南市観光物産協会	600,000
信楽町観光協会（灯り含む）	131,000
近江八幡観光物産協会（灯り含む）	690,000
東近江市観光協会	120,000
長浜観光協会（灯り含む）	605,000
高島市	390,000
びわ湖高島観光協会（灯り含む）	323,000
びわ湖大津観光協会	400,000
奥永源寺溪流の里運営協議会	361,000
草津市観光物産協会	100,000
彦根観光協会	400,000
合 計	13,386,000

(2) 観光まちづくり推進事業

地域において、市町、観光関連団体、観光事業者、住民など多様な主体が参加・連携し、観光をキーにしたまちづくりを行う仕組みづくりを、専門知識を有するアドバイザーの派遣、ワークショップの開催などにより支援した。

① モデル地区の選定、ワークショップの開催

選定市町：守山市、野洲市、日野町、愛荘町

ワークショップの開催：各市町において各4回開催

② 先進地調査

まちづくりの先進地について、モデルとなる地域を訪問し、関係者とともに視察研修を行った。

ア 視察先

・海島遊民くらぶ（三重県鳥羽市） 3月1日実施

イ 視察内容

- ・既存の地域資源を活用した着地プログラムの開発・商品化
- ・明確な戦略、コンセプト
- ・ミッションを明確にした専門会社の立ち上げ
- ・自主財源による運営

③ マーケット調査（WEB調査）

滋賀県への旅行経験者の実態・意識・属性の把握をし、モデル市町4市町への来訪してもらえるようになるのかについて調査予定。

④ 成果報告会の開催

開催日時 平成30年3月20日（火） 13時30分～15時30分

開催場所 コラボしが21 3階中会議室

(3) 観光統計調査事業

県内の観光地に来訪される観光客へアンケート調査を行い、今後の観光振興施策の効果的な推進を図ることを目的としたパラメータ調査を年4回、県内10ヵ所で実施するとともに、平成28年観光入込客統計調査を集計した。

IV. 各種事業・大会開催への参画・後援等

1. 各種事業への参画

(1) 日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会への参画（日本遺産魅力発信推進事業）

「日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会」の事務局を担うとともに、これを通じて構成文化財所在の7地域協議会と連携し、30年度に予定されている大型観光キャンペーンのプレキャンペーンとして、市町、観光関連団体、観光事業者、ボランティア、住民等の多様な主体の参画により、「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」

を開催した。

① 「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化 ぐるっと博」の開催

実施期間 平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

ア オープニングイベント

開催日時 平成 29 年 10 月 7 日 (土)

14 時 30 分～16 時 30 分

場 所 比叡山延暦寺 東塔地区 延暦寺会館

内 容 オープニングセレモニー (挨拶、テープカット)

日本遺産 滋賀・びわ湖の魅力語るトークショー

(小堀延暦寺執行、西川貴教滋賀ふるさと観光大使、三日月知事)

音楽と朗読でめぐる日本遺産 滋賀・びわ湖

(高橋ひかるしが広報部長、川井郁子バイオリン)

日本遺産の伝統芸能 (朝日豊年太鼓踊)

比叡山延暦寺の聲明と和太鼓の共演

参加者数 約 500 名

関係者 約 150 名 (旅行会社、メディア、県内関係者など)

一般参加者 約 350 名 (申込者：約 850 名)



イ 周遊促進事業

ぐるっと博スタンプラリー

日本遺産構成文化財をはじめ各地域の観光施設を巡るスタンプラリーを実施した。

実施期間 平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

プレゼント応募者数 1,050 件

コンプリート数 (8 か所) 434 件 (コンプ率 41.3%)

虹色フォトコンテスト

秋 (平成 29 年 9 月 30 日～11 月 24 日) 投稿数 677 件

冬 (平成 29 年 12 月 18 日～平成 30 年 2 月 25 日) 投稿数 880 件

ウ コミュニティツーリズム事業等の支援

各地域と連携して特別公開・イベントなどの催しの展開およびまち歩きプログラムや体験プログラムなどの地域観光プログラム等を展開

・イベント・特別公開の実施 約 80 プログラム

・地域観光プログラムの展開 約 123 プログラム (まち歩き 67 P G、体験 56 P G)

各実施プログラムへの参加状況 (参加者計 21,020 人) ※1 月末現在

開催日限定のプログラム 50 P G (139 回) 参加者 3,458 人

期間実施のプログラム 53 P G 参加者 17,562 人

② 受入環境の整備

ア 日本遺産地域案内拠点設置事業

日本遺産認定地域への来訪者に日本遺産および構成文化財を紹介し、構成文化財へ誘導するとともに、日本遺産のストーリーと構成文化財との関係や位置づけ、日本遺産としての見どころを紹介する地域拠点として、日本遺産地域館を県内 16 か所に設置した。地域館には、説明パネルの作成・設置を行い、地域館を示す統一デザインのサインを設置した。また、認定地域の主要な観光案内所などを日本遺産案内所として位置づけ、統一デザインのサインを設置した。

・日本遺産地域館

- ①大津市 3 か所 ②彦根市 1 か所 ③高島市 2 か所 ④近江八幡市 2 か所
⑤東近江市 4 か所 ⑥米原市 2 か所 ⑦長浜市 2 か所

・日本遺産案内所

- ①大津市 6 か所 ②彦根市 1 か所 ③高島市 5 か所 ④近江八幡市なし(地域館と共通)
⑤東近江市 3 か所 ⑥米原市なし(地域館と共通) ⑦長浜市 6 か所

③ 「ぐるっと博」の広報・プロモーション

ア 公式ガイドブック、ダイジェスト版、タブロイド版を作成

- ・総合版パンフレット(発行:平成 29 年 9 月 8 日)

作成数 100,000 部(64P)(増刷 20,000 部)

- ・ダイジェスト版パンフレット(発行:平成 29 年 11 月 15 日)

作成数 80,000 部(8P)

- ・《冬(新春)号》パンフレット(発行:平成 29 年 12 月 18 日)

作成数 100,000 部(16P)

イ PRポスター等の作成・掲出

- ・ポスター作成 作成数 1,000 部

掲出箇所 県内(市町・観光協会、観光案内所、道の駅、宿泊、観光施設など)

JR西日本 主要駅(京都駅、新大阪駅、大阪駅、三宮駅など 8 駅)

掲出期間 平成 29 年 10 月 1 日～10 月 21 日

- ・デジタルサイネージ掲出駅

JR東海道新幹線掲出駅(東京駅、名古屋駅、新大阪駅)

掲出期間 平成 29 年 9 月 1 日～9 月 30 日

JR西日本掲出駅(大阪駅、京都駅)

掲出期間 平成 29 年 10 月 1 日～10 月 31 日

ウ さまざまな媒体等を活用した情報発信

雑誌・新聞関係 ミセス、旅行読売、中日新聞など 13 件

テレビ・ラジオ関係 おとな旅あるき旅、KBS 京都など 4 件

ウェブ関係 るるぶトラベル、楽天トラベルなど 5 件

その他 滋賀県広報誌 プラスワン、滋賀たびなどに掲載

交通媒体(鉄道車両を活用した情報発信)

J R 山陽新幹線 平成 29 年 10 月 1 日～10 月 31 日 車内額面掲出
J R 大阪環状線 平成 29 年 9 月 26 日～10 月 7 日 中吊り・ドア横ポスター
掲出
J R 快速電車 平成 29 年 9 月 26 日～10 月 2 日 中吊り掲出
京都市営地下鉄 平成 29 年 9 月 27 日～9 月 30 日 中吊り掲出

エ 旅行会社への商品造成に向けたプロモーション

- ・旅行会社商品企画造成担当者意見交換会および現地研修会（再掲）
期 日：平成 29 年 9 月 7 日（木）～8 日（金）2 日間
会 場：ホテルニューオウミ
- ・中京地区旅行会社商品企画担当者商談会（再掲）
期 日：平成 30 年 1 月 15 日（月）
会 場：ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋
- ・中国・四国旅行会社商品企画造成担当者商談会（再掲）
期 日：平成 30 年 3 月 2 日（金）
会 場：ホテルグランヴィア広島
- ・首都圏旅行会社商品企画造成担当者商談会（再掲）
期 日：平成 29 年 3 月 7 日（水）
会 場：ロイヤルパークホテル

（2）第 35 回 2017 びわ湖大花火大会への参画

開 催 日 平成 29 年 8 月 8 日（月）
会 場 大津港一帯
主 催 びわ湖大花火大会実行委員会
来場者数 約 35 万人

（3）びわ湖一周ロングライド 2018 事業への参画

開 催 日 開催日 平成30年3月11日（日）
主 催 びわ湖一周ロングライド実行委員会

（4）ビワイチトレイルランニング実行委員会への参画

健康・観光をテーマとし、県内のトレイルコースをつなぐトレイルランニング大会
の実行委員会に参画した。

- ① 比叡山トレイルラン 平成29年5月13日（土）
- ② 朽木トレイルラン 平成29年10月29日（日） 台風のため中止

（5）淡海観光ボランティア連絡協議会への参画

総会 平成 29 年 5 月 17 日（水）

交流研修会 平成 29 年 5 月 24 日 (水)
代表者会議 平成 29 年 12 月 5 日 (火)

2. 観光物産関連行事への後援等

県域観光物産関連団体等が実施する観光物産振興事業等を後援した。
後援した行事および企画 64 件

V. ビューローの組織活動の活性化、基盤の充実

1. 観光物産事業功労者等の表彰

観光物産事業の発展、振興に功労のあった個人、団体および優良従業員の表彰を定時総会
の場で行った。

- ・観光・物産事業功労者 8名
前野 昭雄、西田 善美、森嶋 篤雄、古谷 仁成、正木 専治郎、
二代目 杉本 才次、漣 泰寿、西川 英敏 (敬称略)
- ・優良観光・物産団体 1団体
マキノのメタセコイア並木を守り育てる会
- ・優良従業員 15名

2. 会員等との連携の強化

(1) 会員とビューロー、会員相互のコミュニケーションの充実

① 「会員通信メール」の配信

会員の皆様にビューローが展開する事業を知っていただくため、メールマガジン「会員
通信」メールを配信した。

- ・年間 21 回配信 (臨時・号外 3 回含む。)

② 地域懇談会の開催

会員の意見を反映してビューローの事業を進めるため、ビューローの役員と事務局ス
タッフが県内の各地に出向いて地域懇談会を開催し、会員と直接、意見交換をした。

ア 第 1 回 地域懇談会 in 高島

日 時 平成 29 年 5 月 29 日 (月)
15:00~17:00 地域懇談会 参加者 42 人
17:15~19:15 懇親会 参加者 40 人

場 所 今津サンブリッジホテル

議 題 ・平成 29 年度ビューローの主な事業予定について
・意見交換

イ 第 2 回 地域懇談会 in 彦根

日 時 平成 29 年 9 月 19 日 (火)

- 15:00～17:00 地域懇談会 参加者 68人
 17:30～19:30 懇親会 参加者 49人
- 場 所 平和堂HATOC 大会議室（地域懇談会）
 オーミマリン「ピア船」（懇親会）
- 議 題 ・平成29年度のビューローの事業および進捗状況等について
 ・「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」について
 ・意見交換
- ウ 第3回 地域懇談会 in 東近江
- 日 時 平成29年12月5日（火）
- 15:00～17:00 地域懇談会 参加者 74人
 18:00～20:00 懇親会 参加者 47人
- 場 所 太郎坊宮 参集殿（地域懇談会）
 納屋孫（懇親会）
- 議 題 ・平成29年度のビューローの事業および進捗状況等について
 ・平成30年度大型観光キャンペーンについて
 ・意見交換
- エ 第4回 地域懇談会 in 守山
- 日 時 平成30年2月15日（木）
- 15:00～17:00 地域懇談会 参加者 42人
 17:30～19:30 懇親会 参加者 33人
- 場 所 琵琶湖マリオットホテル
- 議 題 ・平成29年度のビューローの事業および進捗状況等について
 ・平成30年度滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」
 について
 ・意見交換

③ 講演会の開催

定時総会開催後、ビューロー会員および一般向けに講演会を開催した。

日 時 平成29年6月9日（金）16:00～17:15

場 所 琵琶湖ホテル

講 師 ルース・マリー・ジャーマン氏

（株）ジャーマン・インターナショナル代表取締役社長）

テーマ 「インバウンドは怖くない！元気にビジネスチャンスを得よう！」

参加費 無料

参加者 175名（うち一般参加者14名）

（2）県、市町、観光協会等との連携の強化

県と協力して、各市町、観光協会との情報や意見交換の場として、観光事業説明会を開催した。

日 時 平成 29 年 4 月 13 日 (木)
場 所 コラボしが 21 3 階 大会議室
議 題 ・滋賀県「観光交流」振興指針アクションプラン概要について
・平成 29 年度 県・ビューローの実施事業について
・平成 29 年度 市町・観光協会の実施事業について